

創立昭和28年1月8日



TANABE ROTARY



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2011-12年度
国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
-Reach within to Embrace
Humanity-
カルヤン・パネルジー
RI会長
大澤徳平ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 伊賀 久記
幹事 福本 雅彦
会報委員長 柏木 壽夫
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊1073-63
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「伏見稲荷大社」撮影 柏木壽夫会員

- 司会者
伊賀久記会長
- ソング
兄弟船
- ゲスト
田辺警察署
署長 丸木 健嗣 様
- ビジター

本日のプログラム 1/26

すさみ海立
エビとカニの水族館
館長 森 拓也様

次回のプログラム 2/2

田辺地域産業保健センター
コーディネーター
井潤 松一 様
「事業所の労働衛生管理」
(メンタルヘルスを中心に)

出席報告

	第2902回	第2903回	第2904回
会員数	85名	84名	84名
出席規定免除会員数	10名	9名	9名
出席計算会員数	83名	83名	80名
出席者	66名	66名	63名
出席率	79.52%	80.49%	78.75%
メイクアップ	4名	6名	
修正出席率	84.34%	86.75%	

メイクアップ

12月23日 中松(会長エレクト勉強会)

お祝い

会員誕生日 竹中、高橋
配偶者誕生日 多屋由紀子(平彦)
皆出席 松本(5年) 三前剛(15年)
年男(辰) 寒川

ニコニコ箱

☆卓話謝礼を田辺警察署長丸木様に頂きました。
☆警察署長丸木健嗣さん、ようこそお越し頂きました。
卓話よろしくお願い致します。……濱口、伊賀、村上、
福本雅、柴田、野村富、近藤、廣本、横田、山本、三前剛
☆歓迎会開いて頂いてありがとうございました。…岩本
☆岩本浩典さんの歓迎会に大勢の御参加ありがとうございました。
残金13,000円は、野球部の甲子園出場にむけての活動資金として寄付させていただきます。
皆さんの御厚意に感謝申し上げます。……新藤
☆1月12日の初例会は欠席したので今日が今年の初出席
です。昭和31年1月入会以来今年で58回目です。クラブの皆さん、今年もよろしくお祈りします。…脇村孝
☆1月5日付紀伊民報のコラム「水鉄砲」に脇村家の事が載りました。小山社長さん、有難う。……脇村孝
☆田辺祭りの写真集発行しました。宜しくお願いします。……小山

☆先日、初孫誕生しました。(内孫です)……坪井
☆濱口さん、明日よろしくお祈りします。……野村富
☆女房と別居中なのでワイシャツをクリーニング店に
持って行きました。……中松

お知らせ

会長報告

- ・本日は、第7回定例理事会を行いました。新会員委員会配属の件、新会員の件、日置川プロバスクラブ10周年の件、60周年記念委員会の件、ライラセミナー研修生の件、他承認されました。60周年委員会構成は、次週発表します。先週入会された岩本新会員は、親睦活動委員会に配属されました。
- ・2012-13年度のRIのテーマが田中作次RI会長エレクトにより発表されました。「奉仕を通じて平和を」です。回覧いたします。

幹事報告

- ・本日、会員として推薦された1名の方をクラブ細則第11条第5節により会員の皆様に通知申し上げます。この推薦に異議のある方は7日以内にその理由を書面を以て理事会にご通知願います。
- ・1月月信(ガバナーズマンスリーレター)が地区HPにアップされています。印刷を希望された方にお渡ししています。



委員会報告

雑誌委員会

古谷典子副委員長

- ・ロータリーの友1月号の紹介

しょうわ会

松本 哲しょうわ会会長

- ・2月16日(木)夜6時30分より海鮮問屋「丸長」にてしょうわ会を行います。会費は7千円です。送迎バスは、JR紀伊田辺駅弁慶像前午後6時出発です。次週より出席表を回覧しますのでご参加よろしくお祈り致します。

親睦活動委員会

新藤整市委員長

・3月18日に会員家族会を行います。各自トレーに行程表を入れてあります。大阪方面日帰り旅行です。出席表を回覧しますので参加よろしくお願ひします。

プログラム



『安全で安心な和歌山をめざして』

田辺警察署 署長
丸木 健嗣 様

田辺警察署長の丸木でございます。

一昨年の3月に、警察本部捜査第一課長から田辺警察署長に赴任いたしました。田辺での勤務は初めてですが、歴史と文化、それに豊かな自然に恵まれた素晴らしい所であると感じております。

はじめに、田辺警察署についてご紹介します。

現在、和歌山県には14の警察署がありますが、田辺警察署は、田辺市と上富田町、みなべ町の1市2町、和歌山県の全面積の約4分の1にも及ぶ広域な地域を管轄しており、県下一はもちろん、西日本一の管轄面積の広い警察署であります。そのため、幹部交番2箇所(みなべ・本宮)、交番2箇所(田辺駅前・大浜)のほか警察官駐在所19箇所であつて治安維持にあつております。

1. 交番と駐在所の違いについて

よく、「交番と駐在所はどこが違うの?」と聞かれますので簡単に説明いたします。

交番は、複数の警察官を配置し、主として24時間勤務の交替制で活動するのに対し、駐在所は、警察官が施設に居住し、主として毎日一定時間昼間に勤務するものです。

交番では、休祭日や昼夜間にかかわらず複数の勤務員が在所又はパトロール活動を行っておりますので都市部での活動に適しています。

一方、駐在所は、警察官が家族と共に施設に居住しておりますので勤務時間外でも事件事故の対応は可能ですが、休務や他の用務で不在となる場合がありますので、市街地から遠く離れた比較的事件事故の少ない地域での活動に適しています。

※当署の幹部交番は、駐在所と同じ勤務形態です。

(本宮は宿直員を置いています。)

2. 治安情勢

(1) 犯罪情勢 (刑法犯認知件数の推移)

和歌山県全体では、平成13年の24,273件をピークに、昨年の10,955件まで10年連続で約55%犯罪を減少させました。

田辺警察署管内では、平成14年の2,568件がピークでしたが、それ以降は多少の増減を繰り返しながらも昨年の964件まで約63%減少させました。

(2) 交通事故情勢 (人身交通事故の推移)

和歌山県全体では、犯罪情勢同様、平成13年の9,228件をピークに、昨年の6,903件まで10年連続で約25%事故を減少させました。

田辺警察署管内も平成13年の1,036件がピークでしたが、それ以降は多少の増減を繰り返しながらも昨年の656件まで約37%減少させました。

た。ただ、昨年は交通事故による死者数が7人と、一昨年の3人に比べ大幅に増加してしまいました。

3. 安全で安心な和歌山をめざして

和歌山県では犯罪を大きく減少させてきておりますが、それでも犯罪率(件数を人口で割った値)については、全国ワースト15位、同規模県(人口150万人未満の23県)の中ではワースト2位と、依然として高い水準にあります。

田辺警察署管内は、県全体よりはるかに減少率が大きいですが、平成23年中の犯罪率は30市町村中、田辺市がワースト8位(H22年同5位)、みなべ町が同14位(同18位)、上富田町が同17位(同15位)となっております。

田辺警察署では、安全で安心な街づくりをめざし、今後も次の施策を講じ、犯罪や交通事故の抑止に努めてまいります。

(1) 少年補導活動の強化

管内で多く発生している犯罪は、順に、器物損壊(特に駐車中の車に傷をつける事件)、自転車盗、万引き、車上ねらいで、この4種別で全犯罪のおおむね50%を占めております。

特に自転車盗や器物損壊は少年による犯罪が多いことから、深夜はいかい(午後10時以降保護者を伴わず理由もなくはいかい)している少年を徹底して補導し、検挙と防犯(少年自身の犯罪被害防止含む)の両面で犯罪抑止活動に取り組みます。

※器物損壊17.3%、自転車盗12.4%、万引き12.3%、車上ねらい6.7%

(2) 自主防犯組織の結成促進

大阪教育大学付属池田小学校事件以降、地域の安全は地域住民の手で守るという意識が高まり、児童の見守り活動や自主防犯パトロールを行うボランティア組織が多く結成されました。

田辺警察署管内では私が着任して以降、8つの自主防犯パトロール隊が新たに発足し、現在30団体が活動を続けています。これら地域住民の皆様の防犯意識の高まりや、きめ細かなパトロール活動が犯罪抑止に多大なる効果を発揮しておりますので、今後も行政当局と連携を密にして自主防犯組織の結成促進に努めていきます。

(3) 新交番設置による夜間の警察態勢強化

田辺警察署には、24時間勤務態勢の交番が2箇所しかないため事件事故が急増している市街地に2箇所の交番を新たに建設したいと考えています。現在、市街地にある老朽化した駐在所を複数統合し、都市型の交番に切り替えることにより夜間の警察力を強化してまいります。

4. むすび

安全・安心は、警察の力だけで手に入れることは不可能です。県民の皆様がそれぞれ危機意識を持たれ、犯罪や交通事故の被害に遭わないように自助努力することが必要です。

鍵かけの励行や、留守にするときのご近所への声かけなどは誰にでも簡単にできますし、子どもを夜間に外出させないように家庭内での躾も大切です。

田辺警察署は、今年も犯罪及び交通事故の抑止活動に全力を尽くしてまいりますので、皆様方のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

